

情報セキュリティマネジメントシステム (ISO27001)の認証取得について



電子入札施設管理センター(以下「e-BISCセンター」という。)は、平成20年2月19日に情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格「ISO/IEC27001:2005」における適合性評価制度で認証を取得しました。

■ ISMSの構築

e-BISCセンターは、関係省庁における電子入札の円滑な実施を支援するために、JACICに設置された専門組織です。

e-BISCセンターでは、平成13年の発足以来、電子入札及びその連携するシステムの保守管理とシステム運用支援の立場から情報セキュリティの確保に努めてまいりましたが、今般ISMS認証基準がJIS規格化されたことから当該規格への準拠性を高めた対策とすべく網羅的な見直しを行ってきました。

この度のISMS認証の取得は、情報セキュリティへの対策が技術的のみならず人的にも組織の総意を持って行われていること、かつそれら対策の継続的な取り組みが制度化されていること等が客観的な評価により第三者機関に認められたものです。

■ 認証に関する詳細

事業者名称	財団法人 日本建設情報総合センター
事業者部門名称	電子入札施設管理センター
認証基準	JIS Q 27001:2006(ISO/IEC 27001:2005)
認証登録番号	MSA-IS-47
登録範囲	電子入札に関わるシステムの保守管理及び運用支援
認証登録機関	株式会社 マネジメントシステム評価センター (認定番号ISR016)
認定機関	財団法人 日本情報処理開発協会

■ ISMSの基本方針

e-BISCセンターはISMSの主たる目的を次のとおりとしています。

- ・円滑な業務遂行が可能となる情報の基盤を確立すると共に情報セキュリティ事故を未然に防止すること
- ・万一情報セキュリティ事故が発生した場合の被害の最小化及び迅速な復旧と同種事故の再発を防止すること

e-BISCセンターでは情報セキュリティに留意すべき三要素(機密性・完全性・可用性)をキーワードとした次のとおり基本方針の宣言を行っています。

情報セキュリティ基本方針 (要旨)

e-BISCセンターでは、システムの安定稼働を目的とした機器類の保守管理業務、システム利用者に対して操作面での支援を行うヘルプデスク業務、及びシステム運用の実務に関する関係省庁との調整業務を実施しています。

e-BISCセンターは、保守管理業務においては情報に求められる「機密性」「完全性」「可用性」のすべてを、ヘルプデスク業務においては問い合わせ等に迅速かつ正確に対応するための「完全性」「可用性」及び、利用者情報に係る「機密性」を、システム運用の実務に関する調整業務においては取り扱う各種情報に関する「機密性」「完全性」の確保を、それぞれ重点においた情報セキュリティマネジメントシステムを構築しています。

e-BISCセンターは、併せて情報セキュリティインシデントの予防と継続的な情報セキュリティの向上に努めることを宣言します。

平成20年2月19日

財団法人 日本建設情報総合センター

理事長 門松 武

機密性 (confidentiality) = 認可されていない者に対して情報を使用不可または非公開にする特性。

完全性 (integrity) = 資産(情報)の正確性及び完全性を保護する特性。

可用性 (availability) = 認可された者が要求したときにアクセス及び使用が可能である特性。

e-BISCセンターでは、今後もISMS認証基準に沿った情報セキュリティの確保に一層努めてまいります。